



## 現地校（サッカー校）訪問

カイロ日本人学校は、近隣のエジプトの学校（現地校）と運動会やジャパンデー（日本を紹介する日本人学校の行事）などで年に数回交流しています。その現地校の一つ、「**Sakkara English Language School（サッカー校）**」に中学生が訪問し一緒に授業を受けてきました。

サッカー校とは、私立の学校で幼稚園から高校まである **Language School** です。授業は、すべて英語で行います。だから、**英語力は日本の中学生よりはるかに上**です。日本の学校との違いや特徴を右にまとめました。

エジプトと日本の中学校の相違点はたくさん見られます。今回、エジプトの学校を見学して強く感じたことは、

### ＜日本の中学校との違い＞

- ◆授業はすべて英語で行われ、フランス語やドイツ語の授業もある。
- ◆中学校の理科は、日本の高校レベルの内容を学習している。
- ◆数学は、日本の方が授業レベルが高い。
- ◆授業中、トイレその他の用で退席が頻繁に行われる。
- ◆先生の質問には、多くの生徒が挙手をして発言する。それに対する賞賛の拍手が盛大（いちいち盛り上がってうるさい）。
- ◆音楽や体育の授業は週に1回程度で、あまり行われていない。
- ◆授業は45分で8限まで授業がある。
- ◆校内での飲食は自由に行われる。携帯電話を持ってきている。
- ◆運動会などの学校行事はあまりない。

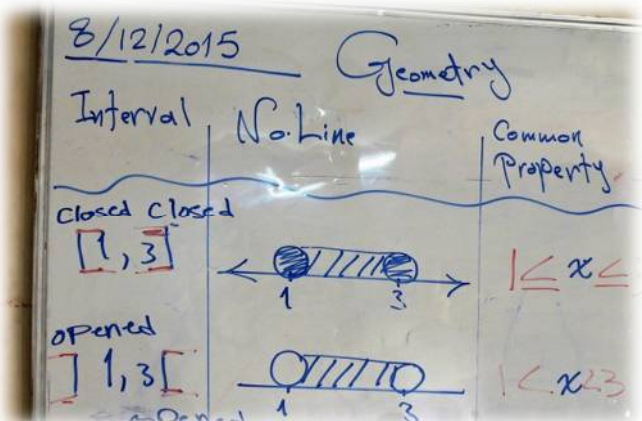
**日本の教育がとても丁寧できめ細やか**だということです。日本は五教科以外の技能教科の授業が充実しているだけでなく、学校行事や生徒指導、部活動、給食、学校の設備などがとても充実していると改めて感じました。別の言葉でいうと、とても**恵まれた環境で学習している**と思います。授業日数も日本の方が多く、エジプトでは、6月下旬に年度が終わり、新年度は9月下旬からです。つまり、3か月も休みがあります。

私が見学したサッカー校は私立の学校なので、だいたい中流の人たちの家庭の子どもたちが通っていると言われています。公立の学校は、もっと厳しい環境で学習しています。例えば、人口増加に学校建設が追いつかず、午前と午後の二部制の学校もあります。**エジプトは、学校でも貧富の差を感じます。**

最近、エジプトでは、「**日本式の教育**」を取り入れようとしていて、カイロ日本人学校にも視察にエジプトの先生方が来ます。日本人の道徳性の高さや規律を守る国民性を、エジプトでも育みたいと考えています。「日本式の教育とは」と聞かれて、「日本式」とは何だろうと私も考え込んでしまいました。



英語の授業をする女性の先生



数学の授業の板書